

2005

川上ダム通信 11月号

発行者
独立行政法人水資源機構
川上ダム建設所
〒518 - 0294
三重県伊賀市阿保 251 番地
TEL : 0595 - 52 - 1661 (代)
<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami>

知りたい!! 川上ダムのこと ～川上ダム職員が先生になり、地元小学校で出前講座を開催～



体育館での学習会の様子

えていこう」という思いから、ダムが出来ると住まいが水没するため移転しなければならないことや周辺の動植物の環境など、ダム造りはダムの恩恵と引き替えに負担もあるが、いかに機構はこの負担軽減に努めているか、ということを受業に盛り込みました。



オオサンショウウオのこどもの重さを測定

この様な試みは初めてでしたが、今後も継続していき次世代を担う子供達に良いも悪いも含め、しっかりと伝えていくことが我々の使命だと痛感した1日でした。

【総務課長 上村信幸】

平成17年11月17日(木)に川上ダム建設所がある地元の伊賀市立青山小学校で職員が先生になり、出前講座を行いました。

これは同小学校の5年生が行う総合学習のテーマが今年「私たちをとりまく水」であることから、当建設所に自然環境やダムの役割などの授業依頼があったものです。

実施した授業内容は、「ダムを造る者でしか教えられることを子供達にしっかり伝



工事現場を見学

また、ダム造りは様々な工事を伴うことを知ってもらおうと、水没する道路の付替え工事現場を見学した後、オオサンショウウオの保護池を見学しました。保護池では、生息分布状況や同施設の機能を説明した後、子供達は実際にオオサンショウウオに触れ、幼生(子供)の体長や体重の測定を行いました。



新聞にも大きく掲載

『JICA』研修生、川上ダム事業を見学

～アルジェリアやブラジルなど様々な国が参加～

日本におけるダム等の大規模事業で取り組んでいる環境保全対策を他国の土木技術者に理解してもらうためにJICA 集団研修の「建設事業における環境保全対策コース」が平成17年11月7日(月)に開催されました。研修の行程は、川上ダム、青蓮寺ダム、高山ダムの順で、それぞれのダムにおいて実施されている環境保全対策について研修生に学んでもらいました。研修生は全員で8名、アルジェリアやブラジルなど様々な国から参加していました。



オオサンショウウオの幼生を見学する研修生



オオサンショウウオ保護池を見学中

川上ダム建設所では、水資源機構の事業や川上ダムの計画、周辺の環境、オオサンショウウオの保全などについて説明しました。その後、オオサンショウウオ保護池を案内し、オオサンショウウオの生態や保護池の役割、なぜ川上ダム建設所でオオサンショウウオの調査を行っているか等について説明しました。研修生の皆さんは、実際にオオサンショウウオを見たのは初めてらしく、とても興味深く観察していました。 【環境課 古賀勝之】

ソルトロード(塩の道)を再現!

～奈良時代から大正時代まで

木津川を渡ってきた塩～



ソルトロードの再現に集まった参加者のみなさん

を再び活性化することを目的とした「木津川舟運で行われていたソルトロード(塩の道)の再現」が行われました。

当日は、大阪からの参加者を含め、「淀川遡航終点」の碑から菅原神社までの約2kmを大和街道沿いに道中、語り部により、大和街道の名所、旧跡、まちかど博物館等の見所を紹介しながら瀬戸内海産の「塩」を荷車にのせ、歩行での運搬によりソルトロードが再現されました。

運搬した「塩」は、菅原神社に奉納され、地元の漬物屋さんが浅漬けの材料として使用され、後日行われた上野のお祭りで振舞われました。

【調査設計課 門田光司】



菅原神社に奉納

技術力向上への取り組み

～ダム等技術勉強会を開催～

川上ダム建設所では、平成14年度からダム等技術全般に関する勉強会を行っています。この勉強会は、職員の技術力向上を図るため、建設コンサルタントや建設関連会社の皆様から最新技術等について紹介していただくものです。



ダム等技術勉強会の様子

10月28日(金)に、今年度2回目の勉強会を開催し、講師として日本国土開発株式会社の方を招き、新技術「回転式破碎混合工法(ツイスター工法)」について紹介していただきました。この工法は、現場内リサイクル、環境負荷軽減、コスト低減など多岐にわたる可能性を秘めた工法であるとの説明を受け、機構職員はこの工法を利用できる対象物の大きさを質問するなど活発に質疑が行われました。私達は、このような新しい技術を勉強し、今後とも技術力の向上に努力していきたいと再認識した勉強会となりました。

【調査設計課 石橋一恭】

川上ダム事業進捗状況の紹介

付替県道青美線第3工区(その3)工事



道路工事施工区間

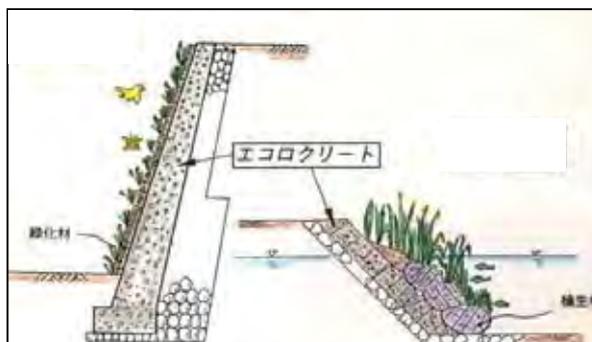
川上ダム建設所では現在、青山美杉線の付替道路工事を行っています。本工事は現道と付替道路の取付け、並びに現道の拡幅を行うものです。施工は現道の外側に盛土して道路を拡げる計画で、工期は平成17年11月18日から平成18年3月26日までを予定しています。

なお、関係機関及び地域の皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力の程、よろしくお願い致します。

【工事課 山田英和】

新技術の紹介 《エコロクリート》

今回は、清水建設株式会社が開発した『エコロクリート』を紹介します。従来、機能性や経済性、安全性に重点を置いて造られてきた土木構造物にも、自然環境と調和し、生態系と共生することが近年求められています。エコロクリートは、このようなニーズに応えるため開発された水を透し、緑化ができるエコロジカルなコンクリート " Ecological Concrete " です。



コンクリート中に水を通すため、コンクリート面に植物を生やすことができます。さらに、コンクリートの背面から、水が供給され、植物の根がコンクリートの隙間に入りこんで保持されることで、植物の成長が促進されます。

【国土交通省ホームページ：新技術情報提供システム (NETIS) より参照】

農業体験研修に参加 (Vol.2)

10月24日(月)～11月4日(金)までの約2週間、香川県丸亀市にある竹内農場で農業を体験させていただきました。作業は、キャベツの管理と肉牛の世話です。毎日8時間の肉体労働、にもかかわらず休みは1日のみ。かなり過酷な作業となりました。



大規模なキャベツ栽培を行っている竹内農場



竹内農場の皆様、ありがとうございました

現在の農業は機械化が進んでいますが、竹内農場ではほとんど人の手で作業を行っていることに大変驚きました。今日、「2007年問題」という団塊の世代の定年に伴う技術力の遞減が懸念されています。その中でも、農家を経営する人は年々減ってきており、技術の伝承が難しくなっているのが現状です。私達のような若い世代が例え違う分野であっても様々な経験をしていくことは、機構のみならず将来の日本全体を考えても大変重要なことであると思います。

【工務課 田中幸志】

色鮮やかなパンジー

～伊賀市商工会女性部の皆さん～

11月13日(日)伊賀市商工会議所青山支部女性部の皆様のご厚意により、当建設所玄関前にあるプランターの植え替え作業を行っていただきました。女性部の方は年2回、地域貢献を目的として花の植え替えを行っており、今回は新たにパンジーの花を植えられました。【通信記者 武村剛泰】



新たに植えられたパンジー

EVENT

まるごと酪農体験記

ジャージー牛のえさやりや糞取り、乳搾りなどの酪農体験をします。しぼりたての乳の温かさなどを肌で感じ、酪農家の苦勞と喜びを分かち合う2日間。

日時/12月3日(土) 4日(日)

場所/伊賀市西湯舟

伊賀の里モクモク手づくりファーム

忍者ウォーキング講演会

「忍者に学ぶ健康術 - 主にウォーキング」の演題で、伊賀流忍者集団黒党(クロンド)代表の方が講演されます。

日時/12月4日(日) 10:00～11:40

場所/伊賀市中央公民館ホール

佐々神社例祭 このしろ祭り

「このしろ鯨」は、内臓を取り除いて塩漬けされたこのしろ(ニシン目の海魚)を自然発酵させた熟れ鯨のことです。このしろ鯨作りは隣近所5軒で組む「当屋」によって行われ、できた熟れ鯨を氏子に配ります。

日時/12月10日(土) 13:00～

場所/伊賀市音羽 佐々神社

編集後記

今月は、青山小学校のみなさんに川上ダム事業について出前講座を行いました。参加された生徒のみなさんは、川上ダム事業について興味を持ってくれた様子で、職員一同大変喜んでおります。今後もこのような機会があれば是非続けていきたいと思っております。

広報誌発行事務局

編集長	恒吉	徹 (川上ダム建設所長)
デスク	上村	信幸 (総務課長)
"	二林	修 (工務課長)
通信記者	武村	剛泰 (総務課)
"	田中	幸志 (工務課)